

平成 29 年 1 月 28 日・29 日

住民説明会

# 江府町役場新庁舎整備

## 基本構想

(役場庁舎整備基本構想)

## 役場庁舎整備基本構想

### 新庁舎整備の基本的な考え方

<p><u>新庁舎の施設整備等の基本的な方向性</u></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 誰もが利用しやすい庁舎<ul style="list-style-type: none"><li>ア) 窓口機能</li><li>イ) 多くの住民への対応可能なスペース</li><li>ウ) 情報受発信機能</li><li>エ) 高齢者等に配慮する機能</li></ul></li> <li>② 防災拠点として役割を果たす庁舎<ul style="list-style-type: none"><li>ア) 防災拠点機能</li><li>イ) 災害時等に対応する機能</li></ul></li> <li>③ 機能性・効率性を重視した庁舎<ul style="list-style-type: none"><li>ア) 執務機能</li><li>イ) 議会機能</li><li>ウ) 維持管理機能</li><li>エ) 分庁舎を解消する</li></ul></li> <li>④ 環境に配慮した庁舎<ul style="list-style-type: none"><li>ア) 省エネを考慮した機能</li></ul></li> <li>⑤ 用地取得や造成工事が安易な庁舎<ul style="list-style-type: none"><li>ア) 最短の工程で完成する</li><li>イ) 事業費を軽減する</li></ul></li></ul>
---------------------------------	--

## 江府町庁舎整備事業について

現在、町では検討を重ねて以下の4つ案で庁舎整備を考えております。出来るだけ事業費をおさえ、早期に整備を着手できることを念頭に置いて検討しました。皆様のご意見をお聞きしながら推進したいと考えております。

### 江府町庁舎整備事業候補地（案）

案（1） JA 江府支所購入（敷地面積約 1,500 m<sup>2</sup>） 延べ面積 1,495 m<sup>2</sup>

鉄筋コンクリート3F 概算事業費 5億2千万円

※築30年経過しており、今後大規模改修が必要となる

案（2） 旧江府中学校跡地建築（敷地面積約 10,000 m<sup>2</sup>） 延べ面積 2,500 m<sup>2</sup>

鉄筋コンクリート3F 概算事業費 10億8千万円

案（3） 現庁舎跡地建築（敷地面積約 5,000 m<sup>2</sup>） 延べ面積 2,500 m<sup>2</sup>

鉄筋コンクリート3F 概算事業費 10億4千万円

※仮庁舎建築及び仮移転費は含まず

案（4） 江尾駅横駐車場地建築（敷地面積約 600 m<sup>2</sup>） 延べ面積 2,500 m<sup>2</sup>

鉄筋コンクリート5F 概算事業費 11億1千万円

事業費は、上記以外に現庁舎からの移転費、備品購入費は、含んでいません。

現庁舎解体費 概算事業費 4千万円

## 庁舎移転についての利点と課題

### 案（１） J A江府支所購入

#### 利点

- 1、防災・情報センターの隣接地である
- 2、消防車庫の隣接地である
- 3、江尾駅から徒歩圏内（2 km以内）である
- 4、インフラ整備（電気・上下水道）が整っている
- 5、町の幹線道路国道（482号）に接続している

#### 課題

- 1、鉄筋コンクリート造瓦葺の耐用年数（50年）（昭和61年築）で、後20年である
- 2、将来の維持管理費が高額である
- 3、江府支所の移転先が決定し、支所完成まで時間を要する
- 4、支所内の改装が必要である
  - （ア）エレベーターの新設
  - （イ）バリアフリー化（玄関・トイレ等）の改修が必要である
  - （ウ）2階3階を議会及び事務室に大規模改修が必要である
- 5、現状の4箇所の分庁舎が入居するには手狭である
- 6、来客用及び公用車の駐車スペースが手狭である
- 7、防災拠点としてのスペースが取れない

### 案（２） 旧江府中学校跡地建築

#### 利点

- 1、町有地であり取得費や造成工事がほとんど必要ない
- 2、十分な面積（約10,000㎡）があり駐車スペースが確保でき、防災への離発着の可能性（現在、西部広域が検討中）がある
- 3、江尾駅から徒歩圏内（2 km以内）である
- 4、インフラ整備（電気・上下水道）が整っている
- 5、防災拠点としての十分なスペースが可能である
- 6、町の幹線道路、国道（181号）に接続している
- 7、給食センターが隣接しており災害時に炊き出しが可能である
- 8、現在の4箇所の分庁舎を入居が可能である

#### 課題

- 1、隣接地に一級河川がある
- 2、国道の出入りに注意を要する

### 案（３） 現在地建築

#### 利点

- 1、町有地であり取得費や造成工事がほとんど必要ない
- 2、インフラ整備（電気・上下水道）が整っている
- 3、江尾駅から徒歩圏内（2 km以内）である
- 4、現在の4箇所の分庁舎を入居が可能である

#### 課題

- 1、来客用及び公用車の駐車スペースが手狭である
- 2、完成まで仮庁舎が必要である
- 3、土砂災害警戒区域（イエロー）内である
- 4、防災拠点としてのスペースが取れない

### 案（４） 江尾駅周辺（駐車場）

#### 利点

- 1、江尾駅に隣接している
- 2、インフラ整備（電気・上下水道）が整っている
- 3、町有地であり取得費や造成工事がほとんど必要ない

#### 課題

- 1、周りの町道の幅員が狭く震災時の通行に不安がある
- 2、来客用及び公用車の駐車スペースが取れない
- 3、隣接に伯備線がある
- 4、隣家が日陰になる
- 5、建築時にJRとの協議に時間を要する